

指定管理者自己評価シート

I 基本事項

評価対象業務	大船渡市立図書館管理運営業務
指定管理者	株式会社図書館流通センター
指定管理期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
評価年度	令和5年度
人員体制	総括責任者1名 業務責任者1名 副業務責任者1名 職員6名 移動図書館車運転手1名
勤務状況	・休館日：毎週火曜日、12月29日から1月3日、 特別整理期間（蔵書点検） ・シフトによる交代勤務制 平日：8時30分から19時15分（2交代制） 土曜、日曜、祝日：8時30分～17時15分（2交代制）

Ⅱ 業務達成度の分析・評価

1 管理運営業務

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
施設等の運営	(1) 運営全般業務	館運営、関係機関・団体との連絡調整、市への報告等適時対応した。	総合的な視点で適切に運営を実施した。
	(2) 庶務業務	OBIC 7 会計システム、OBIC 勤怠システムを利用し、各種帳票作成と庶務業務を行う。	各種システムの利活用、本社との連携により適正に実行した。
	(3) 窓口サービス業務 ※空調工事休館後に実施	予約数 2,486 件 書架案内 513 件 資料検索 454 件 書庫出納 126 件 文献調査 8 件	利用者への日常的な貸出・返却対応に加えて左記の予約及びレファレンス関連業務を行う。
	(4) 蔵書管理業務	受入数：4,203 冊 (購入 3,695、寄贈 508) 除籍点数：23,472 点	購入資料(図書、雑誌、新聞)は、基本的に地元書店・販売店から購入した。
	(5) 関係団体支援業務	市の各課と連携し、図書展を開催。 学校図書館担当者に図書館情報を提供、移動図書館車運行や選書・配本、団体貸出、また、除籍資料の一部を市内小中学校に譲渡する機会を設け、学校図書館の蔵書を補完し、読書活動の支援・学習サポートを行った。また、図書支援活動地域ボランティア研修会に、スタッフを講師として派遣した。 読書ボランティア各団体との情報交換に努め、その事業に必要な資料を提供した。	市の各課からの連携事業の申込が増えた。 学校関係者からの所蔵調査や貸出依頼件数が増えた。 今後も関係団体と連携し、その支援業務を継続する。
	(6) 読書活動推進に関する業務	各種図書館イベント(催事、展示会等)から波及する読書推進活動を実施した。	市立図書館の基本業務のひとつと位置付け、継続活動する。
	(7) 移動図書館車の運行業務	貸出人数 1,674 人 貸出冊数 21,566 冊	幼保／こども園 5 校 小中学校 9 校 学童クラブ 1 施設 福祉系施設 12 施設 に定期巡回した。
	(8) 相互貸借業務	貸出 134 件、借受 84 件	相互貸借希望館と連絡調整を行い、利用者の要望に沿うよう遅滞なく処理を進めた。

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
自主事業等	読書の普及、振興に関する事業を積極的に企画・実施すること	金融講座やボードゲーム体験会、百科事典を活用した謎解きイベントなど、幅広い世代の図書館利用を促す企画を実施した。	参加者のアンケートをみると、内容に満足した意見が多かった。 今後も図書館利用拡大に繋がる独自性のある事業やイベントを企画・実施する。

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
その他業務	(1) 施設の管理に関すること	市民文化会館と連携協力し、火気取締り、戸締り、その他災害防止に努めた。	今後も市および市民文化会館 指定管理者と連携協力の体制を維持していく。
	(2) 設備及び物品の管理に関すること	館内設備の維持管理を専門業者に委託した。 ・青少年コーナー窓 ロールスクリーン修繕工事	市民文化会館と連携協力し、左記の施設小破修繕を適切に実施した。
	(3) 施設の警備に関すること	利用者の安全と施設を守るために、利用者が安心して利用できる環境整備に努めた。	閉館業務に於いては、施錠の確認、消灯、安全点検等を適切に行った。
	(4) 施設の防災に関すること	市民文化会館との合同消防訓練(火災)を2回実施した。	今後も大船渡地区消防組合指導による合同消防訓練、普通救命講習会を定期的に実施していく。
	(5) 業務報告及び各種調査回答	月次の利用状況を月例会にて報告提出した。また、四半期単位で収支概要を提出した。	市職員と連携協力し、適時各報告書等作成提出した。
	(6) その他管理運営に必要な業務	業務改善をテーマとした研修勉強会等を実施。	左記を受け、事務所フロア整理等につき、各種マニュアル類の整備中。

2 指定事業

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
児童 向 事業	・おはなし会 ・ブックスタート	・おはなし会：年間 17 回実施、参加者：子ども 78 人、大人 58 人 計 136 人 ・ブックスタート：年間 12 回実施、参加者：子ども 122 人、大人 134 人 計 256 人	関連団体の協力のもと両事業共に実施することが出来た。両事業ともに幼少期における本との接点となる意義のある事業として継続していく。
一般 向 事業	・企画図書展の開催 ・おたのしみ親子劇場	・企画図書展開催回数：年間 10 回 ・おたのしみ親子劇場：12 月 10 日開催、子ども 64 人、大人 64 人 計 128 人	市内関係団体と連携協力して企画図書展を開催した。おたのしみ親子劇場は、市立図書館最大のイベントであり、今後も継続する。
運移 行動 事業 図書 館	・BM 利用状況及び運行状況	年間利用者数：1,674 人 年間利用冊数：21,566 冊 年間巡回日数：144 日 年間ステーション訪問件数：702 件	随時運行ステーションの利用状況を確認し、半期毎に適正な運行スケジュールを検討・作成した。空調工事休館中は、従事スタッフを増員し、全ステーションの巡回時に約 300 冊の貸出用図書を積載した社用車を併走した。

業務達成度の分析・評価における総括	自己評価
大船渡市の管理運営に関する基本協定書、年度協定書、管理運営業務仕様書や関係法令等の基準を順守し、利用の公平性を確保するとともに、利用者が安心且つ安全に利用できる環境を提供できるように、市民文化会館と連携して施設や設備の維持管理に努めた。また、業務については、直営時代の運用を引継ぎつつ、改善が必要と考えられる事項については、適時改善を実施し業務の効率化を推進している。	図書館運営については、適正に業務遂行できていると自己評価する。 施設管理については、今後とも市民文化会館 指定管理者と連携協力して遂行していく。

Ⅲ 利用者満足度の分析・評価

項目	実施結果等		
実施方法	利用者アンケートの実施（アンケート用紙の配布及び回収） 実施期間：令和５年１２月９日から令和６年１月２９日		
回答者数	175 件		
調査項目	評価	今回	前回
図書館の施設・設備	満足	44%	42%
	やや満足	20%	23%
	普通	25%	24%
	やや不満	5%	4%
	不満	4%	4%
開館時間（平日 9 時～ 19 時／ 休日 9 時～ 17 時）	満足	51%	57%
	やや満足	15%	18%
	普通	26%	19%
	やや不満	7%	3%
	不満	1%	1%
貸出期間（2 週間）	満足	39%	42%
	やや満足	16%	14%
	普通	26%	29%
	やや不満	13%	9%
	不満	5%	4%
貸出点数（本・雑誌等 10 冊まで／DVD 等 2 点まで）	満足	54%	59%
	やや満足	14%	14%
	普通	27%	21%
	やや不満	2%	2%
	不満	1%	0%
案内表示のわかりやすさ	満足	29%	25%
	やや満足	15%	19%
	普通	38%	41%
	やや不満	9%	11%
	不満	5%	1%

調査項目	評価	今回	前回
目的の本や雑誌等の 探しやすさ	満足	26%	24%
	やや満足	15%	18%
	普通	36%	39%
	やや不満	17%	14%
	不満	5%	3%
職員の対応や説明	満足	49%	50%
	やや満足	25%	25%
	普通	22%	22%
	やや不満	2%	2%
	不満	1%	0%
図書館のすごしやすさ	満足	43%	43%
	やや満足	28%	20%
	普通	19%	28%
	やや不満	5%	5%
	不満	4%	2%
予約・リクエストサービス（希望する本がない時、他の図書館から借り受けるなどして用意するサービス）について	満足	35%	32%
	やや満足	16%	15%
	普通	29%	27%
	やや不満	0%	1%
	不満	1%	0%

主な意見・要望等	対応状況等
施設の構造的課題は継続的に指摘されている。案内表示については改善効果がでている認識。	施設の構造的な課題は受け止めつつ、可能な部分については対応を継続していく。

利用者満足度の分析・評価における総括
図書館が「本を借りる」ニーズに加え、利用者の居場所として「すごしやすさ」がより求められている現状認識である。今後も引き続き多様な利用者ニーズを踏まえ、社会教育施設として適正な運営を継続実施していく。

Ⅳ 収支状況の分析・評価

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	決算額	決算額－予算額
指定管理業務受託収入	46,300,000	46,300,000	0
指定管理外収入	10,000	20,180	10,180
収入合計	46,310,000	46,320,180	10,180

【支出の部】

科目	予算額	決算額	決算額－予算額
人件費	26,582,000	28,494,689	1,912,689
消耗品費	650,000	701,362	51,362
旅費交通費	100,000	68,840	▲31,160
通信運搬費	400,000	163,276	▲236,724
賃借料	800,000	955,836	155,836
車両経費	230,000	334,817	104,817
資料費（図書）	5,500,000	5,503,661	3,661
資料費（新聞・雑誌）	750,000	832,050	82,050
資料費（視聴覚資料）	100,000	127,399	27,399
TOOLi 利用料	528,000	528,000	0
読書推進事業費	150,000	188,705	38,705
HP 開設・維持	720,000	470,800	▲249,200
自主事業費	350,000	129,951	▲220,049
修繕費	100,000	99,000	▲1,000
租税公課	3,000,000	3,275,922	275,922
管理費	6,350,000	4,445,872	▲1,904,128
支出合計	46,310,000	46,320,180	10,180

【繰越金】

科目		前年度までの繰越	今年度の繰越	次年度への繰越
繰越金		0	0	0
収支状況の分析・評価における総括				
収入	ほぼ当初計画での収入額となる。			
支出	支出科目によって当初の計画予算金額と実支出金額に乖離が発生した。 科目ごとの支出内容を精査し、次年度はさらに精度の高い計画策定・執行を目指す。			
繰越金	なし。			